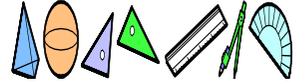




校長室だより



長い夏休みが今日で終わりました。子どもたちがどのように過ごしたかとても興味があります。一学期の終業式で「少しがんばったらできそうなことに挑戦しよう」という話をしました。ちょっとがんばることができることに挑戦することが自分を成長させることにつながります。子どもたちが過ごした「生活」と「挑戦したこと」を子どもたちから教えてほしいと思いますし、保護者のみなさまからも教えていただきたいなと思っています。

二期は行事が目白押しです。行事によって子どもたちは成長していきます。教科指導で教える授業と行事等で育てる主体性を合わせて子どもの成長を促していきたいと考えています。

夏休みの学び

先生方は夏休みに入って「学び」を充実させています。子どもたちが登校している学期中には授業の準備や行事の取り組みの段取りなどで落ち着いて学ぶのが難しい部分があります。そこで長期休みには、普段なかなか向き合えない学びを行っています。もちろん、普段ゆっくり休めない分、しっかり休んでもらっています。

7月末から8月はじめにかけて、「人権について」「生活指導について」「学力向上について」を市全体の研修や中学校区の先生たち合同で講演会を行いました。そして8月末には「道徳について」「支援の方法について」「国語の授業づくりについて」などなど様々な学びを行いました。その他にも自主的に研究会に出向いて学んだり、本などを読んで自ら学びを深めたりしています。

教師としての充電は「遊び」と「学び」です。先生たちはしっかり充電してくれました。やる気満々で二期に臨みます。

夏休みだから「伝えたいこと」があります

この夏休みは、オリンピックがあったり、さまざまな出来事があったりと、子どもたちに伝えたいことがたくさん溢れてきました。

オリンピックについては日本人選手ががんばったという話はさておき、少し気になったことがありました。それはオリンピック休戦が順守されなかったことです。オリンピック開催の七日前には戦争を止めることが国連で決議されています。しかし、戦争が続いた中でオリンピックが開幕しました。戦争当事国である国も参加が認められていました。このオリンピック休戦は人類が戦争をやめたり防いだりするために作った優れたルールだと思っていたので少し残念な気持ちになりました。また卓球で活躍した早田ひな選手はインタビューで「鹿児島の特攻資料館に行って生きていること、卓球ができることが当たり前ではないということを感じたい」と発言していました。トップアスリートの彼女が戦争について真剣に考えていることで子どもたちにも関心を持ってほしいと思いました。

8月6日広島、8月9日長崎での平和記念式典。そして8月15日の終戦記念日。平和について考えるきっかけが夏休み中にはたくさんありました。平和について考えるためにも、高学年の歴史学習はもちろん、日頃の学習を大切にしていきたいと思っています。